

物流の適正化・生産性向上 の取組に関するガイドライン

1. 発荷主事業者・着荷事業者に共通する取り組

(1) 実施が必要な事項

■ 物流業務の効率化・合理化

① 荷待ち時間・荷役作業等にかかる時間の把握

発荷主事業者と物流事業者との連携のもと、配荷待ち時間・荷役作業等にかかる時間を把握し、

②荷待ち・荷役作業等時間2時間以内ルール

トラックへの積込みの際、パレット積み付け荷物や製品管理ストレージ等を活用し効率的な積み待ち、荷役作業等にかかる時間を削減します。

また、物流事業者が貨物自動車運送事業法等命令を遵守して事業を遂行することができるよう

③物流管理統括者の選定

物流の適正化・生産性向上の取組を事業者内め、物流業務の実施を統括管理する者を選任し
物流管理統括者は、物流の適正化・生産性向.

して、物流業務の管理を行います。

④物流の改善提案と協力

発荷事業者・着荷事業者の商取引において物
ものがないか検討し、改善します。

■運送契約の適正化

⑤運送契約の書面化

運送契約は、書面にて行います。

⑥運賃等の契約について

発荷主事業者と物流事業者と協議して対応を

⑦下請取引の適正化

運送契約の相手方の物流事業者に対し、下請
多重下請による運送が発生しないよう留意します

■輸送・荷役作業等の安全の確保

⑧輸送異常時等の運行の中止・中断等

地震等災害が発生した際やその発生が見込まれ
し無理な運転依頼を行いません。また、運転者等
中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場

(2)実施することが推奨される事項

■物流業務の効率化・合理化

発荷事業者として、物流事業者と当日の配車計画の計画を事前に十分協議し、長時間の荷待ち時

①予約受付システムの導入

予約受付システムについては、予約業務負荷の目的を明確にし、発荷事業者と物流事業者双方

②パレット等の活用

パレット等を活用し、荷待ち時間・荷役時間等を削減する提案を物流事業者からパレット等の活用について提案し、積極的なパレット等の活用を検討します。

③出入荷業務の効率化に資する機材等の配置
トラック等において、荷待ち時間が発生しないよう作業員等を物流事業者と協議し配置します。またため自動化・機械化の導入を検討します。

④検品の効率化・検品水準の適正化
青果物の検品等については、効率的な検品に

⑤物流システムや資機材(パレット等)の標準化
パレットの活用にあたり、「青果物流通標準化方
サイズ1,100mm × 1,100mmのパレット(

⑥輸送方法・輸送場所の変更による輸送距離の
発荷事業者と物流事業者との協議をし、輸送手
によるモーダルシフトを導入し、着荷事業者と連携

⑦共同輸配送の推進等による積載率の向上
青果物の輸送単位が小さい場合には、他の荷物
して積合せ輸送を実施し、積載率の向上を目指す

■運送契約の適正化

⑧物流事業者との協議
運賃等運送契約の条件に関して、物流事業者と連携

⑨高速道路の利用

物流事業者から高速道路の利用と料金の負担協議に応じ、高速道路の利用に係る費用について

⑩運送契約の相手方の選定

契約する物流事業者を選定する場合には、関係とともに、働き方改革や輸送の安全性の向上等いたします。

■輸送・荷役作業等の安全の確保

⑪荷役作業時の安全対策

荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防ぐための明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を実施し、発生した場合の損害賠償責任を明確化します。

2. 発荷主事業者としての取組事項

(1) 実施が必要な事項

■ 物流業務の効率化・合理化

① 出荷に合わせた選果等

出荷先を考慮した選果計画、配車計画により荷役を効率化します。

② 運送を考慮した出荷予定時刻の設定

トラック運転手が輸送先まで適切に休憩を取り
スケジュールが組めるよう、物流事業者と連携し
組みます。

(2) 実施することが推奨される事項

■ 物流業務の効率化・合理化

① 出荷情報等の事前提供

青果物の計画的な輸送を行うため、出荷情報を
や着荷事業者の発送・受入体制を確保する。ま
の前日以前に連絡出来るよう努めます。

② 物流コストの可視化

着荷事業者との商取引において、物流効率に
ます。

③発荷主事業者側の施設の改善

荷待ち・荷役作業等の時間削減に資するよう、
置場の確保やパレット出荷対応等必要な改善に

④混雑時を避けた出荷

物流事業者と連携して対応します。

⑤発送量の適正化

着荷事業者との連携による計画的な受発注及

計画的な出荷・輸送に努めます。

.に向けた荷主事業者

/

主な事項

↓

配車計画に基づき、出荷に係ります。

菊池地域農業協同組合